

報告書骨子案

大項目	小項目	内容	担当
はじめに	(1)現在の食品を取り巻く現状 (2)本委員会の検討課題として選定された理由 < 語句説明 >	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術の進展に伴う新しい知見 ・食品にゼロリスクはあり得ない。 ・非常に難しい安全性に関する事例のため、今後も起こり得る食品の安全性に関する情報提供を考えるケーススタディとなる。 ・今回の国が行った情報提供を、消費者により身近な行政機関である都としてできることがあるのではないか。 ・リスクコミュニケーションとは 	
メチル水銀について	(1)水銀の基礎知識 (2)代表的なメチル水銀中毒 (3)各国の対応 (4)水銀とセレンの問題	<ul style="list-style-type: none"> ・無機水銀と有機水銀 ・メチル水銀とは ・メチル水銀が人に及ぼす影響 ・胎児に対する影響 ・水俣病 ・イラクでの種子用小麦によるメチル水銀中毒 ・各国で行われている消費者に対する注意喚起 ・魚介類に含まれているセレンと水銀の関係 	代田委員
薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会乳肉水産食品・毒性合同部会における検討経過	(1)魚介類の水銀規制 (2)「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」の経緯 (3)基準値等の持つ意味	<ul style="list-style-type: none"> ・国が昭和48年に定めた暫定規制値 ・魚介類等からのメチル水銀の検出結果 ・検討内容 ・耐容摂取量の決め方 ・不確実な係数の考え方 ・耐容摂取量を超えた食品を摂取するということの持つ意味 	関澤委員
「水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項」の公表についての評価	(1)公表後の国の対応 (2)公表内容・方法についての問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省が6月3日に国の委員会検討結果を公表 ・マスコミに報道され、キンメダイ等の流通に影響 ・国から各都道府県に対する周知依頼 ・国がQ & Aを発表 ・耐容摂取量の国際基準の見直しに伴い、食品安全委員会での検討を表明 	委員会での検討内

大項目	小項目	内容	担当
	(3) 市場影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築地市場でのキンメダイ・メカジキの取扱状況および値動き ・ その他の社会的、経済的影響 	容やアンケート結果等を踏まえて
都における対応について（提言）	<p>(1) 本事例のリスクコミュニケーションの方法</p> <p>(2) 都における情報提供後の対応について</p> <p>(3) 今後の食品の安全性に関するリスクコミュニケーションについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に活かせる情報提供 ・ 消費者との情報交換（食品安全ネットフォーラムやアンケートの手法などを含めて） ・ 対象別の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、情報提供をしたものについて、情報の伝わり方や内容についての検証を行い、それに基づいて情報提供方法を改良していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者からの情報収集の方法について ・ 各国で行っているリスクコミュニケーションを行うためのシステムについて研究し、都ではできるだけ都民に身近な情報提供を行うことが望ましい。 	
おわりに			
資料編	<p>(1) 国が公表した内容</p> <p>(2) 魚介類等のメチル水銀検出結果</p> <p>(3) 国の審議経過</p> <p>(4) キンメダイとメカジキの値動き</p> <p>(5) 消費者等からの情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月3日に国の委員会検討結果の公表 ・ 6月5日に正しい理解のために ・ 6月16日（ホームページ）にQ & A <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の委員会で公表された結果 ・ 平成14年度の都の検査結果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 築地市場の値動き（6月～8月） ・ 都内市場の月別値動き（平成14年1月～平成14年8月） <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品安全ネットフォーラムへの投稿内容 ・ 区市町村母子保健担当者へのアンケート結果 	事務局